

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局  
2022年度 放送番組審議会 議事録

【日時】2023年4月10日(月)15時~16時30分

【場所】株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局

<放送番組審議委員>

ご出席 (五十音順)

浅野 義 則 様

今野 薫 様 (審議会委員長)

佐々木 裕 子 様

谷田 至 史 様

早坂 美 代 子 様

ご欠席 (五十音順)

相澤 美 和 様

渡部 洋 平 様

<事業者：株式会社ジェイコム埼玉・東日本>

仙台局局长

稲吉 正 美

仙台局地域プロデューサー

荒木 洋 邦

仙台局地域プロデューサー

遠藤 宏 美

(制作担当)

JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 映像制作第一部

埼玉・東日本制作グループ 仙台拠点長 藤原 直 軌

1. 開会 (事務局)

- ・出席者の紹介
- ・事業者紹介

2. 仙台局による地域との関わりについて (荒木)

- ・仙台市から委託を受けた事業「少年の主張」の説明
- ・10月 富谷市・大和町で実施した「七ツ森ハーフマラソン大会」番組・地域イベント
- ・仙台 89ERS、ベガルタ仙台とのスポンサー契約、イベント連携、応援番組について
- ・子どもの見守り、商店街、近隣の大学との連携について

### 3. 2022 年度 コミュニティチャンネル編成内容について説明（藤原）

- ・編成方針について 「ど・ろーかる」がコンセプト  
地域情報をはじめ、高校野球や花火などの地域イベント、災害 L 字などの安全安心
- ・2022 年 3 月に NHK との「防災・減災における連携協定」を締結  
災害 L 字をはじめ視聴者が有益な情報を届けられるように実施していく
- ・LIVE ニュースについて  
町をスタジオに地域の大勢の方にご出演頂き、地域の今を一緒に伝えられるようになった  
民放との差別化を心掛け、地域住民の視点で情報を精査している
- ・震災特番 仙台市が取り組み SDGs をテーマに制作
- ・ふくあじ 放送作家 小山薫堂氏が原案・提唱の料理人が紡ぐ人情グルメ番組が人気

#### 【審議】

#### ◆各番組のご意見・ご感想・課題・改善案など

（谷田委員）

<良かった点、要望>

- ・LIVE ニュースなど番組の作り方、情報の取り上げ方が地域密着していて、また興味を引く部分も深堀  
されていて構成として好ましい。民放との差別化も出来ており、番組と視聴者が近くに感じられる様  
に意図して制作していると感じた。今後もこうした方向性で続けて頂きたい。
- ・震災番組においては、「良く探してきたな」と地域のリサーチ力に感心した。小学校が取り組む防災  
教育や下増田児童センターの地域すごろく作りなど、構成にも味があり、作り手側の温かさもあり、  
着眼点が素晴らしかった。
- ・高校野球の県予選 コロナ禍で保護者でも観戦できない状況がここ数年続いており、地域のニーズは  
あるので引き続き中継を実施して欲しい。

<改善点>

- ・番組審議で視聴した DVD の中で首長年頭挨拶の映像が長すぎたので、もっと短い方が良い。

（今野委員長）

<良かった点、要望>

- ・地域に入り込んでいる点は私も良いと感じた。コンテンツの選び方は視聴者の方々も感じ取れるもの  
があったのではないかと思う。

<改善点>

- ・視聴者からの番組に対する意見を伺える事はあるのか？

（回答／藤原、稲吉）

- ・取材時や局に郵便が届く等、感想を伺える事はあるが、システムのヒアリングできる形式はない。
- ・以前は調査機関に依頼し、区民モニターの視聴者の方からのご意見を伺う等、グループインタビュー  
形式で実施した事もあったが現在は中断している。

視聴者からのニーズやご意見を伺える実施方法を前向きに検討したい。

(浅野委員)

<良かった点、要望>

- ・全体的にまとまった地域に密着していると感じられた。
- ・LIVE ニュース 地域 No.1 グランプリ企画にて名取のせりを紹介していたがインターネットで購入できる事を知らなかったので参考になった。
- ・杜モリスports 引き続き地域スポーツを取り上げて欲しい。
- ・少年の主張 中学生が命の大切さなど主張していて感心した。同年代の方に沢山観て頂きたい。
- ・震災特番 東日本大震災というイメージがあるが未来に向けてより良い復興として地域の方が努力している取り組みを紹介していると感じた。

<改善点>

- ・LIVE ニュース 仙台育英の甲子園初優勝時の街頭インタビューで女性が答えていたが情報に詳しくすぎたので、それよりも選手や監督インタビューをもっと聞きたかった。
- ・地域で頑張る地域起こし協力隊の方や団体の方を取り上げて欲しい。
- ・商店街の衰退や一次産業の担い手不足など地域の課題を取り上げて欲しい。

(佐々木委員)

<良かった点、要望>

- ・スポーツや食に関する事が視聴者は興味があると思う。LIVE ニュースでセリ鍋を紹介していたが知らない食べ方を紹介していて良かった。勤務先の大学で新入生が入ってきているが、近くの飲食店に興味があるので飲食店情報を紹介してくれるとありがたい。新たに地域に住み始める方にとっても有益。
- ・地域メディアの醍醐味は知っている人が出演する事だと思うので、更に取り上げて欲しい。
- ・震災では大学で1名が亡くなってしまった。震災を知らない若い世代も増えてきており伝えきれない事もあるので震災番組は継続して欲しい。南三陸観光協会と仙台白百合女子大学が提携しており、外国人向けのパネル展示の翻訳を担っている。3月近くだけではなく普段から少しずつ取り上げて欲しい。

(早坂委員)

<良かった点、要望>

- ・高校野球は感動できるコンテンツなので継続して欲しい
- ・震災、復興、子育て、食 いつも喜ばれるし視聴率も高いと思う。震災でのダメージが少ない中山間地域の現状や第一次産業が取り上げられていないと思う。地域ブランドを立ち上げ6次産業まで頑張っている方々がいるので取材する事で若い人たちが注目され地方が活気づくので実施して欲しい。復興はハード面が新しい物が出来て紹介はされているが、それに紐づく人たちの活躍も紹介して欲しい。

(今野委員長)

- ・各委員の話を伺って共通しているのはいかに地域と密着しているか、地域の方々が近くなのに知らない事をどう拾い上げていくかだと思う。

去年の震災番組内の「学校の防災教育」紹介で、「今日は訓練だから校内放送で実施したが実際に災害が発生した場合に校内放送はないがどうすべきか」と紹介していた。私はこうした事は当たり前と捉えていたが社会では出来ていないのが現状。こうした事は学校に限らず企業や自分でもBCPの好事例になると思う。こうしたノウハウを3月だけではなく日頃から紹介して頂きたい。

取材対象となる地域の方と日頃からコミュニケーションを取っておくと良い。視聴者の方からの要望、取材依頼を広く設けてはどうか。

(回答／藤原)

- ・現在、視聴者からの出演依頼、問い合わせはLIVEニュースのHPに設けている。番組の感想について投稿できる手段はないので今後、検討して参ります。
- ・情報収集については取材依頼をはじめ新聞、ネットからのリサーチが中心。取材先で情報を頂く事もあり人との繋がりが大切と感じる。ここ3年ほどコロナ禍により外出口ケが減っていた事や地域の方と対面でのコミュニケーションを図る機会も少なかったので今後拡充していきたい。

以上